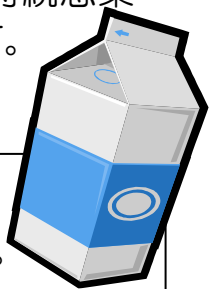


家畜衛生情報

搾乳衛生の向上と牛ウイルス性下痢ウイルス持続感染牛を発見するため、“バルク乳検査”を実施します！

本年度から酪農生産性向上対策事業で、バルク乳検査を実施します。

バルク乳検査によって、搾乳衛生等の改善による生乳品質の向上を喚起するとともに、牛群における牛ウイルス性下痢ウイルス（BVDV）持続感染牛の存在を確認し、BVDVによる繁殖障害等の発生防止を図ります。



検査の概要

- ✓ 検査時期：年2回（春：6～7月、秋：11～12月）
- ✓ 採材日程：各家保が関係機関と協議のうえ計画しお知らせします。
- ✓ 検査内容

バルク乳細菌検査：

バルク乳中の特定の細菌数等^{※1}を調べることで、搾乳衛生の状態や乳房炎の感染状況を把握します。

バルク乳の牛ウイルス性下痢ウイルス（BVDV）遺伝子検査

BVDV 遺伝子の有無を調べることで、農場内に BVDV 持続感染牛^{※2}の存在を把握します。

※1 細菌数等：黄色ブドウ球菌、無乳性レンサ球菌、環境性ブドウ球菌、環境性レンサ球菌及び大腸菌群の細菌数並びにマイコプラズマの有無を検査します。

※2 BVDV 持続感染牛：一生涯にわたり唾液、鼻汁、糞便、尿、乳汁、精液などからウイルスを排出し続け、感染源になっている牛のことです。



検査後の対応

バルク乳の検査で搾乳衛生や乳房炎の状況を把握したうえで、必要に応じて、個体乳検査などを実施し搾乳衛生の改善指導に努めます。

BVDV 遺伝子検査が“陽性”の場合は、牛群中の持続感染牛を発見するための検査を実施し、本病による繁殖障害等の病気の発生を防除します。

お問い合わせは、こちらへお願いします。

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439
上田支所	0268-23-1630	松本	0263-47-3223
伊那	0265-72-2782	長野	026-226-0923
県庁園芸畜産課	026-235-7232		